

後世に歴史を遺し伝える
記録と継承を考えて



いのうとしお
伊能 敏雄 議員

香取市史編纂に関して

Q 合併から20年弱。香取市の新たな歴史を書き加える時期にきた。取り組み状況を確認する。

A 香取市としての歴史が蓄積された時点
で着手する事業であるとの考えの下、
現在、編纂計画の策定や編纂に係る資料調査
など、具体的な取り組みは行っておりません。
今後、教育委
員会内や庁内
関係部局と協
議をするなど、
事業の具体化
に向けて、検
討を始めてい
きたいと考え
ております。



合併前の旧4市町史

Q 郷土の偉人を取り上げた教育の取り組みは。

A 小学4年生社会科千葉県版の副読本「すずむ千葉県」、香取市の副読本「わたしたちの香取」などを活用し、伊能忠敬、佐藤尚中について学習しています。

意見 合併地域に於ける偉人と呼ばれる人を市史編纂から吸上げて子供達に教えて欲しい。

コロナ禍後、
最もまち興しに繋げる事業

Q 佐原の大祭の駐車場配置と駐車台数。その運用形態。又、問題等は無いか。

A 利根川河川敷臨時駐車場約1000台、佐原駅北駐車場220台及び町並み観光駐車場70台、計3カ所、1290台分を案内しております。市内各所に駐車場案内看板を設置し、無料の利根川河川敷臨時駐車場へ駐車していただき、希望する方には有料で祭り区域近間の送迎を行っております。

香取市を日本一の
水上スポーツの聖地に



まえだ まさゆき
前田 誠之 議員

Q 水上スポーツの振興において香取市民レガッタの貢献度は非常に高いと考えますが、市としての認識は。

A 香取市民レガッタは、気軽に水上スポーツを体験することができ、交流の場ともなっていることから、レガッタを通じて市民の一体感の高揚や郷土愛の醸成の一助になっているものと思慮されます。また、県外からの参加クルーもあり、同様にレガッタを開催する近隣市などとも交流が図られ、市の魅力を市内外を問わず発信しており、その貢献度は高いものと考えております。

Q 今年度からの新たな取り組みとして黒部水際BOAT SESSIONが同時開催された。市としての評価は。

A 開催の目的やイベント概要などから判断し、市教育委員会として後援をさせていただいております。市民レガッタへの参加や応援に加え、来場された皆さんに新しい楽しみを提供し、大会を盛り上げていただけたと考えております。

Q 全国大会誘致に向けて伊藤市長の意気込みは。

A 全国市町村交流レガッタ大会の開催は、水上スポーツタウン香取市を全国にPRする絶好の機会であると捉えており、前向きに進めていきたいと考えております。



香取市民レガッタ(7月2日開催)

Q 特別電車の運行は。

A 7月15日及び16日に臨時特急佐原夏祭り号が運行され、車内でミスあやめによる佐原の大祭のPRを実施しました。

意見 祭礼中に無断駐車移動案内放送があった。ユネスコ世界遺産登録される祭礼であり、観光の一翼を担う祭りだ。もっと観光客を呼び込む体制を再点検願いたい。

水郷おみがわ花火大会

Q 大会に要した経費と問題点の確認。

A 主な歳入は、市からの補助金700万円、協賛金約1220万円、合計で約1920万円となっており、歳出は宣伝費約46万円、会場設営費約570万円など、合計で約1940万円となっております。また、課題としては、駐車場不足があり、水郷小見川観光協会において、新たな駐車場を確保することです。

意見 打上げで多々トラブルもあった。打上げ構成も昭和の花火大会然りだ。有料客席の増加と他の収入方法を検討すべきだ。

香取市を介護予防の
日本一の先進地域に

Q 香取市の介護保険事業予算の10年前と現在の比較は。

A 市の介護保険事業費全体で、平成25年度は約57億円、令和5年度は約79億円で約39%の増額となっております。

Q 香取市の健康体操である香取もりもり体操を推進することで医療費の増加や介護保険料の抑制に直結するのではないか。

A 介護予防事業を実施することにより、医療費の増加や介護保険料の抑制につながるものと考えております。



香取もりもり体操サポーター

Q 伊藤市長の介護予防に掛ける思いは。

A 年齢とともに筋力や心身の活力が低下するフレイル予防も含め、介護予防は超高齢化時代に対応するための重要な取り組みであると考えています。今後の方針としては、高齢者福祉の主要事業として、介護予防のさらなる強化に努めてまいります。